

【平成 24 年度に実施した公益目的事業】

1、谷中小唄めぐり

道行く一般の多くの方々へ、小唄の魅力と理解を深めて頂くことを目的に実施してます「谷中小唄めぐり」。「谷根千」と呼ばれる、ガイドブックなども出ている都内で人気の散策コースの中心にあるのが会場の「旧吉田屋酒店」。明治期に建てられた文化的価値も高い建築物ですが、ここの土間を舞台に散策途中の方々へ小唄の魅力を伝え、楽しんで頂いてます。会場は春日会館からも近く、会館の町内会である桜木町会の皆さんが、暑い夏には天幕を張るなどのお手伝いを頂いております。

平成 24 年度は、次の皆様にご出演頂きました。

第 33 回 六月 とよ芝桃、とよ芝道

「梅雨もよい、雨の浅草、夕立の余り強さ、昔は昔、話し白けて、逢いたさに」

第 34 回 九月 とよ五凜、とよ五幸

「虫の音、散るは浮き、日吉さん、惚れて通う、こうもり」

第 35 回 十一月 とよ津満、とよ奈世

「お染（恋の緋鹿子）、長崎ぶらぶら、萩、河太郎、五万石・めでためでた」

第 36 回 三月 とよ芝葎、とよ芝浩

「時雨茶屋、主さんと、さくら見よとて、京なまり、逢いたさに」

2、一葉小唄ごよみ

台東区立一葉記念館の「一葉祭」に協賛して行われている「一葉小唄ごよみ」は、同記念館のイベント会場にて十一月二十二日（水）に開催されました。今回の一葉祭は、日本初の近代女流文学者として数々の名作を残した樋口一葉の生誕百四十年を記念しての開催。一葉祭の期間中は入館料が無料になるほか、様々な催し物が開催されることも有り多くの来館者で賑わい、私どもの二回公演の「小唄ごよみ」も両回とも満席の盛況、春日会を代表する素晴らしい演奏に、多くの来場者から賞賛の声が寄せられました。

平成 24 年度は、次の皆様にご出演頂きました。

唄 とよ芝きみ 糸 とよ芝媛

「昔すみだ、雪のあした」「川竹、柳橋から」

唄 とよ喜裕美 糸 とよ喜裕
「辰巳の左衽」「二人が仲、せかれ」

唄 とよ緋世 糸 とよ絹世
「赤坂見附」「冬灯し、羽織着せかけ」

唄 とよ重葉 糸 豊芝洲
「湯島境内」「かまわぬ」

唄 とよ稲園絵 糸 とよ稲裕
「筆のかさ」「新地から」

唄 とよ美英昌 糸 とよ徳花
「早や告ぐる、根も葉もないこと」「初雪（春駒）」

3、若草ライブ

春日会の次代を担う皆さんによる「若草ライブ」も八回目を迎え、九月九日（日）春日会館ホールに多くのお客様をお迎えし行われました。出演者は、緊張の中にも皆一生懸命の熱演、お客様から惜しみない拍手がおくられました。

4、春日会研究会

5、春日会慈善会

恒例の「春日会研究会」は六月二十五日（月）三越劇場にて、また「春日会慈善会」は関西は六月二十一日（木）国立文楽劇場にて、東京は十一月二十六日（月）三越劇場にて盛会のうちに行われました。